

全酪連会報 7

2026 JUL No.730

酪農とのかけはし／藤林歩さん

父の日に牛乳を贈ろう! 前編

第52回 らくのうこどもギャラリー 入賞作品紹介

日本酪農見て歩紀／愛知県酪農農業協同組合(愛知県岡崎市)

酪農トピックス

全酪アカデミー活動報告

酪政連活動報告

「農業経営統計調査」にご協力ください

全酪新報ダイジェスト版

全酪連ギフト商品について



全酪連 定期刊行物のご案内

バックナンバーはQRコードから
閲覧いただけます。



全酪連会報

⇒ <https://www.zenrakuren.or.jp/kaiho/>



COWBELL

⇒ <https://www.zenrakuren.or.jp/cowbell/>

フォローして最新情報をチェック /

全酪連

X公式アカウント

はじめました!

@zenrakuren



全国酪農業協同組合連合会



▲ 藤林歩さん

普通ここは大型で行かないだろうって細い道を配達に行くこともありまして、帰りも育成牛やスモールなどを積ませていただきました。若齢牛の輸送は他社さんではあま

りないことですから、いろいろと鍛えられましたね。(笑)

水は契約しているスタンドでもらうのですが、場所によっては再生水を利用しているところもあり、水道水を確保しに別のスタンドに行くこともありまして。牛ってきれいな水じゃないと飲まないんですね。また、家畜車の中も定期的に確認し、敷料をならしたり、モクシを締め直したり、ちよとした酪農作業を行います。車内に入って作業するのは汚れるし最初は必要なのかと疑問でしたが、それがそのあとしっかり効果を発揮することが分かりました。声やにおいを覚えてくれて到着後の降ろす作業がすごくスムーズになるんです。長距離であればあるほどその重要性を感じ、声をかけたり、作業着を変えないようにしたりと自分でもいろいろと工夫をしました。

家畜輸送の先輩からは「牛より先

思いがけず家畜輸送担当に
入社は20年ほど前になります。以前は道内で建築の仕事をしておりましてが、公共事業が目減りしていく中で将来を考え、運転が好きだったこともあり入社を決めました。当社は主に雑貨配(一般的な荷物の配達)と家畜輸送の2チームに分かれており、最初は雑貨配に配属となりましたが、1年ほどで先輩から声がかかり家畜輸送を

半年だけ手伝うことになりました。期間終了後、雑貨配に戻ろうと思ったのですが受け入れられず、今に至っています。現在は家畜輸送チームの配車等管理業務がメインですが、ドライバーとしては約10年間勤務しました。道内便からスタートして、ある程度こなせるようになったら本州便も担当するようになり、当時はカーナビもなく道も分かりませんでした。人に聞けみたいな感じで、沖縄以外は全部行かせてもらいました。本州では

輸送時の手厚いケア

子牛輸送は基本的には授乳から次の授乳までの間には輸送を完了させるのに対して、成牛の輸送は数日間に及びます。今は法律の改正によりありますが、当時は北海道から鹿児島まで丸4日かけて輸送していました。すると朝晩8回給餌がありますので、トラックの屋根にも牧草を積み込み出発します。餌の量はだいたい決まっています。水については注意が必要で、水を飲みすぎると餌を食べなくなってしまう。少し足りないかな、と言う量の水をあげてから餌を食べさせていました。また、季節や気温によっても量や頻度を変えるなど調節していました。

水は契約しているスタンドでもらうのですが、場所によっては再生水を利用しているところもあり、水道水を確保しに別のスタンドに行くこともありまして。牛ってきれいな水じゃないと飲まないんですね。また、家畜車の中も定期的に確認し、敷料をならしたり、モクシを締め直したり、ちよとした酪農作業を行います。車内に入って作業するのは汚れるし最初は必要なのかと疑問でしたが、それがそのあとしっかり効果を発揮することが分かりました。声やにおいを覚えてくれて到着後の降ろす作業がすごくスムーズになるんです。長距離であればあるほどその重要性を感じ、声をかけたり、作業着を変えないようにしたりと自分でもいろいろと工夫をしました。

酪農との かけはし



第62回

大三運輸株式会社 専務取締役

藤林歩さん

畜主の意識で 輸送を行う プロフェッショナル

大三運輸株式会社は昭和33年に設立され、北海道江別市に本社を構える物流企業です。特に家畜輸送においては道内トップクラスの保有台数とともに40年以上の実績があり、本会札幌支所畜産事業による輸送の大部分を担っていただいております。この度は、同社専務取締役の藤林歩さんにお話を伺いました。



に飯を食うな（牛の様子をよく見るように）」とみっちり教わりました。それは現在もしっかり引き継がれていると思います。

2024年問題にあたって 荷主協力と自助努力

2024年問題と言われる物流業界での時間外労働の規制強化にあたっては、当社では大きく分けて2つの事に取り組みました。ひとつめは長距離フェリーの使用です。昔は函館～青森のフェリー以外はひたすら陸路を走っていたのですが、法改正により144時間以内に輸送を完了させなければならませんでした。休息時間にあたるフェリーでなるべく目的地の近くまで輸送することで、可能な限りこれまでどおりの輸送ができるよう努めています。乗船枠



▲ 積み込みの様子



▲ 輸送中は扇風機（車内左上）にて高温対策に備える



▲ これより到着まではドライバーが畜種の代わりにケアをする

の確保、運賃の交渉など現在も継続的に行っています。昨今の原油高によりフェリー運賃が右肩上がりとなっていて、難しいところです。もうひとつは荷主様の協力です。全酪連さんには兵庫県と滋賀県に中継所を設けていただきまし、また道内に関しても特に集荷が分散していた預託下牧牛を中士幌牧場（SP）にて一括集荷が可能になるように協力していただいています。牛はテリトリーの意識が強く、牧場の敷居をまたがせるのが本当に大変なんです。牛によつては1時間くらいかかってしまいますので、その点でもSPまで運んでおいていただくことで大幅な労働時間の短縮につながります。また、府県到着後の配達（酪農家さんまでの輸送）も地元の業者さんに依頼することで件数を減らしていただ

いています。

生体輸送に限らず、昔からのお付き合いなどで多少無理をしたり安価で受けてきたお取引がありますから、法律が変わり窮屈な部分もありますがそこはしっかりと守っていかたいと思います。しかし、やはりしわ寄せでトラックもドライバーも不足が生じています。運賃が上がればもちろん解決ですが、どの業界もそれぞれ厳しいと思うので、自助努力もしながらしっかりと対応していきたいと思っています。労働時間には牛の積み下ろしにかかる時間も含まれますので、先ほどお話ししてきたような輸送中の工夫も大事になりますね。

メンタル的見返りが大きい仕事

2011年3月11日の東日本大震災発生時、ちょうど全酪連さんの牛を乗せて宮城県栗原市を走っていました。状況も

分からないまま青森まで行きましたがフェリーどころではなく、餌も水も確保できなかつたので秋田県に向かい稲作農家さんに稲わらをもらい、あとは公園の水を飲ませながら1日

余計にかかりましたが北海道にたどりつきました。自分の食糧が手に入らず2日間飲まず食わずだったのは辛かったですね。全酪連さんの東北の飼料工場が被災されたということで、翌日すぐに釧路工場から飼料を積んで岩手県で降ろし、そのまま福島県吹町の酪農技術研究所から育成牛を熊本に運びました。当時は言われるがままでしたが、今思えば生命救助のお役に立ってたのではないかと思います。

生体輸送は1回の仕事、さらに言えば一工程二工程毎回違います。性格の違う15頭の牛（初妊牛輸送の場合は15頭で満車）を運ぶうちに、時には輸送中の出産もありますし、気を付けていても死亡もあります。そのため雑貨に比べて生体は運転以外の作業も多く観察や注意力が必要になります。だからこそ、無事に輸送が完了した時の達成感は圧倒的に違いますね。メンタル的な見返りがとても大きく、それは何回やつても何年経つても変わらないと思います。あとは日本全国の酪農家さんと繋がりができたり（おかげですごく狭い道路を通ることもあります）、きれいな景色が見られたり、地元の美味しいものを食べられたり。そういうところも含めて私はこの仕事がとても好きですね。



父の日に

牛乳
を贈ろう!



今年も全国各地でキャンペーンを実施!

全国酪農青年女性会議による「父の日に牛乳を贈ろう! キャンペーン」は、今年も父の日である6月21日(日)を中心に、全国各地で活動を展開しました。この活動は、「父と牛乳という誰もが分かりやすい語呂合わせを活用し、「父の日に大切な人に牛乳を贈ろう!」と全国的に呼びかける牛乳消費拡大活動で、平成18年から毎年全国各地で実施しています。スーパー、保育園、イベント会場など様々な場所で牛乳の試飲や搾乳イベントを行い、酪農家自らが牛乳のPRを行っている活動です。各地で実施されたキャンペーンの一部をご紹介します。

●北海道酪農青年女性会議

北海道酪農青年女性会議(遠藤裕子委員長)は、釧路市と千歳市のこども園を訪問し、クイズと牛乳・ミルメークのプレゼントを行いました。参加者に協力いただき牧草、配合飼料、ミルカーや子牛用哺乳瓶といった実物品を用意すると、園児はミルカーに指を入れたり、発酵のにおいに鼻をつまんだり、哺乳瓶を持ってみたりと、興味津々な顔を向けてくれました。千歳市の園では、園児による「うしうしサンバ」が披露され、参加者も一緒に踊って楽しい時間を過ごしました。

また、6月12日(金)には、北海道庁への訪問も実施し、本年は加納孝之副知事へ牛乳を贈呈しました。遠藤委員長を含めた4名が参加し、キャンペーンの歴史や北海道での活動について紹介し、同席した藤井副委員長の地元の“なかしべつ牛乳”で乾杯! 加納副知事は「甘くておいしい!」と喜んでくださり、藤井氏より地元の牛乳を紹介する場面もありました。終了後は、北海道庁ロビーにおいてミルメークの配布を行い、訪れた市民や職員へキャンペーンをアピールしました。

北海道



●東北酪農青年女性会議

東北酪農青年女性会議(斎藤忠義委員長)は、6月13日(土)に仙台市太白区にある「せんだい農業園芸センター」にて活動を実施しました。当日は施設内の広場にて行われたフリーマーケット開催と重なり、天気にも恵まれたことから施設開園時間の9時前から入場待ちの列ができる程の多くの方が来園され、ご家族連れなどで大変賑わい、準備した400セットのパンフレット、ミルメーク

等はあっという間に配布完了となりました。

当会場での実施は5年連続となり、「毎日牛乳飲んでますよ」「応援しています」等声をかけていただき生産者と消費者が交流できる場になっています。引き続き、消費拡大・理解醸成活動に取り組んで参りたいと考えています。ご協力いただきました関係者の皆様ありがとうございました。

宮城県



● 栃木県酪農青年女性会議

栃木県酪農青年女性会議（池田祐太委員長）は、行政への表敬訪問を行い、6月1日に高根沢町長、6月10日には栃木県知事を訪問しました。産地の現状を伝えるとともに、地元産牛乳のさらなる認知度向上と積極的な消費への協力を呼びかけました。また、6月6日には消費者と直接触れ合う場として、「農産直売所あぜみち中央市場店」「道の駅 東山道伊王野」の2か所でPRイベントを開催しました。会場では、アンケートに回答いただいた方へ試飲用牛乳やミルメークをプレゼントし、牛乳消費を力強く訴えました。さらに、その場でミルメークを混ぜて飲んでみることを促すなど、牛乳のおいしさや楽しみ方を直接伝える工夫を凝らし、多くの家族連れで賑わいました。酪農家が直接消費者に牛乳の価値を伝えるこの活動は、地産地消への関心を高める貴重な機会となりました。



▲ 6/1 高根沢町長 表敬訪問



▲ 6/10 栃木県知事 表敬訪問



● 岐阜県酪農青年女性会議

岐阜県酪農青年女性会議（西尾直樹委員長）は6月17日、岐阜県庁舎を訪問し、江崎禎英岐阜県知事に牛乳を贈呈しました。知事との懇談では、日頃の活動報告とともに、今後の牛乳の消費拡大に向けた取り組みについて熱心に意見を交わしました。当日は「県庁マルシェ」の開催日で多くの来場者が詰めかける中、江崎知事はマルシェ開始前の挨拶に登壇し、贈呈された牛乳を飲み干すパフォーマンスと共に、買い物に訪れた方々におおいに牛乳の魅力を訴えていただけました。その効果もあってか、多くの購買客が訪れ、牛乳の魅力を広く発信する絶好の機会となりました。

県庁マルシェ：

岐阜県庁舎（1階 GALLERY GIFU前）を活用して、おいしく新鮮な農産物を購入できる場を創出し、来庁いただいた方に、県産農産物のファンになっていただくため、毎月第3水曜日に旬の県産農産物を販売。

（岐阜県ホームページより）

➡ <https://www.pref.gifu.lg.jp/site/pressrelease/492198.html>



▲ テレビ局のインタビューを受ける西尾委員長



▲ 懇談に応じる江崎禎英岐阜県知事



▲ 岐阜県酪農青年女性会議メンバーと江崎岐阜県知事懇談後の記念撮影



▲ マルシェ開始前に牛乳を飲む江崎禎英岐阜県知事



▲ 多くのお客さんと賑わう牛乳・乳製品のブース

入賞作品紹介

「らくのうこどもギャラリー」に多数ご応募いただきありがとうございます。
 総応募点数は209点でした。その中から12点の入賞作品を選出させていただきました。

特選



「も〜」

会津若松市立城南小学校 2年(東北)
 山谷 めい

斜め後ろから描かれた牛さんがとても魅力的に描けましたね。雲や斑紋や柵や草がたっぷり和水を含んだ絵の具で塗り分けられ、ダイナミックな筆さばきに絵にリズムを生んでいます。絵全体に生命力がみなぎり、元氣潑刺としたみずみずしい作品に仕上がってます。

総評

今年も第52回らくのうこどもギャラリーに多数応募いただき、ありがとうございました。北海道、東北、関東甲信越、中部、西日本、九州地区から、総応募数209点が届け、その中から12点の素晴らしい作品を選出させていただきました。今年は、北海道、九州からは幼稚園・保育園児の作品が多く、その他の地域は小学生の作品が多く見られました。大人顔負けのリアルな牛さんから、子どもらしい不思議な牛さん、洞窟壁画のような力強く描かれた牛さん、乳製品をアピールしたもの、チーズの盛り合わせが描かれたものなど、作品内容は多岐に及び、私たちの目を楽しませてくれました。

特選に選ばれた山谷めいさんの「も〜」と、入選1の堀阜月さんの「興味津々(きょうみんしん)」は、どちらがトップをとってもおかしくない作品です。完成された技術力を感じさせる堀阜月さんの作品か、絵画としての魅力が存分に伝わってくる山谷めいさんの作品か、最後まで悩みましたが、小学2年生の子どもらしい大胆さとみずみずしさが溢れる山谷さんの作品を特選とさせていただきます。しかしながら堀阜月さんの作品は、歴代トップに位置するほどの完成度であったことは、審査員一同認めるところです。堀阜月さんは、さらなる高みを目指して腕を磨いてほしいと思います。入選2の嶋花さんの「牛さんと桜」は、牛さんが春の空気を伝える桜並木を背景に画面にうまく配置されていました。入選3の三井乃々桜さんの「かわいい

牛さん」は、大きな足や尻尾の形がとてもユニークな牛さんが魅力的です。入選4の表湧さんの「うしのさんぽ」は、簡略化された形で象徴性を帯びた牛さんの群れが描かれ、洞窟壁画を彷彿させると審査員、事務局一同の話題となりました。このほか秀作、ファミリー、あすなろなど入賞7点も、それぞれに個性を感じる独特な味わいのある作品が選出されたと思います。

近年は、デジタル処理やAI活用により、時間をかけずに簡単に絵を描ける時代になってきました。子ども時代に牛と触れ合いながら絵を描くことは、それとは真逆な行為と言えます。実際に長い時間牛さんを観察することで、視覚だけではなく聴覚や嗅覚などの五感を刺激しながら、子どもたちは新たな発見の連続にこそが動かされることでしょう。子どもの絵には、小さな手のぬくもりがあり、人間らしい感情が宿っています。育ち盛りのお子さんをお持ちの親御さんには、どうか豊かな創造体験でもあるお絵描きの時間を、暖かく見守っていただきたいと思います。

最後になりましたが、子どもたちに牛さんを絵画のモデルとして惜しみなく提供いただいた酪農家の皆さん、いつも絵画を指導してくださる先生方、こどもギャラリーを運営して下さる事務局の皆さんに、感謝申し上げます。来年も多くの子どもたちの作品を拝見できることを心から楽しみにしています。

宮島 径／写真家
 (みやじま・けい)



1967年 長野県生まれ。
 1991年 東京藝術大学美術学部芸術学科 卒業。
 1993年 デーリマン写真部入社
 1997年 フリーランス・カメラマンとなる。
 個展：2002年 「surface」(PLACE M, 東京)
 2006年 「世界のしくみ」featuring 麻里布栄
 (PLACE M, 東京)
 2010年 「日照時間／The Daylight Hours」
 (ギャラリー蒼穹舎、東京)
 2016年 「One Another」
 (喫茶&ギャラリーウィリアムモリス、東京)
 2019年 「裏山現像」featuring 麻里布栄
 (PLACE M, 東京)

浅野 智／画家
 (あさの・さとし)



1964年 神奈川県生まれ
 1993年 東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻(油画)
 修士課程 修了
 2000年 第11回 関口芸術基金賞 優秀賞
 2001年 第12回 関口芸術基金賞 大賞
 2016年 第1回 枕崎国際芸術賞 協賛賞
 2017年 文化庁 文化芸術推進事業 ドローイングの現在
 NPO 法人withART 代表理事

入選3



「かわいい牛さん」

認定こども園 北陽幼稚園・第5北陽保育園 5歳（北海道）
三井 乃々椋

画面いっぱいに元気よく牛さんが描かれています。堂々としていて迫力があり、尻尾の形がアクセントとなり形の面白さを際立たせています。逞しい後ろ足は蹄の形までよく観察しています。背中の上の赤いハートは乃々椋さんからのプレゼントのように見えます。

入選1



「興味津々(きょうみしんしん)」

内灘町立内灘中学校 3年（中部）
堀 皇月

牛さんのお顔をじっくりと観察して、リアルさを追求した作品です。絵の具のかすれ具合で毛並みの柔らかさを表現したり、精巧な目の描写に対して意図的な文字のぼかしを施したり、大人顔負けの技術力で素晴らしい作品です。歴代トップクラスの完成度です。

入選4



「うしのさんぽ」

認定こども園 鶴ヶ谷希望園 5歳（東北）
表 湧

太陽が燦々と降り注ぐ中、同じ方向に向かって散歩をしている牛さんたちを力強いタッチと絶妙な色調で描いてくれました。まるで洞窟壁画のような象徴化された形と画面構成で見る者を惹きつける力のある作品として、今回の審査でも話題の1枚でした。

入選2



「牛さんと桜」

郡山市立行徳小学校 5年（東北）
嶋 花

広々とした牧場の向こうに満開の桜並木が広がり、牛さんたちがのんびりと草を喰んでいる中でこちらをじっと見つめる一頭の牛さん。色彩豊かな画面に、モノクロの牛さんたちを魅力的な配置で描いた、春の空気を感じる作品です。

秀作3



「かわいいね」

一迫幼稚園 4歳（東北）
千葉 あんり

パールの淡い色彩とたくさんのハートで囲んで、牛さんの可愛さを最大限に表現してくれました。牛さんに対するあんりさんの愛情がストレートに伝わってきます。作品を鑑賞する私たちもハッピーな気持ちにさせてくれるハートフルな一枚です。

秀作1



「牛の咆哮」

那須塩原市立青木小学校 5年（関甲信）
大森 湊人

牛さんのお顔が画面に飛び込んできたような迫力を感じさせる作品です。大きく開いた口元からは、今にも牛さんの鳴き声が聞こえてきそうです。お顔の黒い毛並みは粗野に、白い毛並みは丁寧に描きこまれ、重厚さも表現されています。

ファミリー賞1



「牛のかぞく」

那須塩原市立青木小学校 1年（関甲信）
菊地 真歩

なんと8頭もの、たくさんの牛さんを描いてくれました。一瞬時が止まったかのように皆んなでこちらを向いて、まるで記念撮影をしているような楽しい作品になりました。隅々まで手を抜くことなく描いた緑の牧草に風が吹いているように見えます。

秀作2



「うしさん可愛かった」

室場小学校 1年（中部）
塚本 萌花

黄土色の丸い体に、グリーンの目を持つミステリアスで愛嬌のある牛さんが描けましたね。お乳のピンク色、耳のオレンジ色、顔の下の青色など、色の配置が良いアクセントになっています。目の周りのまつげの線など、繊細さも感じられる作品です。

あすなろ賞2



「うしさんおいしいミルクうれしいなあ」

させぼ中央こども園 5歳（九州）
白川 可惟

黒いクレヨンを使って牛さん2頭を並んで描いています。リズミカルな斑紋が印象的で、描いた時の筆さばきを感じます。しっかりと形を描く力強い線は可惟さんの視線をなぞるように表現されています。繊細で淡い水彩とのコントラストが魅力的な作品です。

ファミリー賞2



「かわいい牛さん」

認定こども園 北陽幼稚園・第3北陽保育園 5歳（北海道）
鈴木 陽葵

体とお顔が一緒になったような「かわいい牛さん」が画面中央に大きく描かれています。その周りには、女の子や子牛さんや太陽が楽しげに登場しています。みんなが明るい笑顔で描かれ、楽しさが伝わってくる作品です。

あすなろ賞1



「はっぱ おいしいな」

あさひ保育園 5歳（九州）
松尾 織冬

お顔を90度に傾けてこちらを見つめる牛さん親子は、どこに向かっていくのでしょうか。ロボットのような風貌の牛さん、大地を横切る線の連なり、ワインレッドのダークな空など、どこか懐かしい未来を感じさせる不思議な作品に仕上がっていると思います。





▲メタン削減牛乳「地球に優しい牛乳」のシンボル「げっぷ牛」

今回は、愛知県で、メタン抑制効果のある飼料を給与された乳牛から得られた生乳「だけ」を商品化し、地元販売店を通じて消費者へ届ける取り組みについて紹介します。

愛知県酪農農業協同組合
愛知県岡崎市

愛知県酪農農業協同組合も主要メンバーとして参加した『地球にやさしいプロジェクト』が愛知県で進行中！



愛知県酪農農業協同組合（以下…愛知県酪）も事業の主要メンバーとして参画し、牛のげっぷに含まれるメタンを削減する農業技術の実証に取り組んでいます。また、このメタン削減牛乳のシンボル「げっぷ牛」は愛知県酪の職員が考案したもので、もともとは落書きから生まれたそうです。

牛が酷暑の原因!??

年々夏の暑さが厳しくなり、今年4月、気象庁は日中の最高気温が40℃以上になる日を「酷暑日」として新しい予報用語を定めました。最高気温が40℃なんて少し前には考えられなかった環境です。この異常（今では普通とも）な暑さに牛が関係しているとの説があります。牛に携わる皆さんは一度くらいどこかで聞いたことがあると思います。そう、牛のおくび（げっぷ）に含まれているメタンです。地球温暖化の原因とさ

れている温室効果ガスの中心は二酸化炭素ですが、このメタンも温室効果ガスに含まれています。



▲農林水産省 畜産局 畜産振興課
令和5年10月 畜産環境シンポジウム「畜産をめぐる情勢」より

まずは先進地視察

最初に愛知県職員が先進地域のオーストラリアに赴き、視察を行

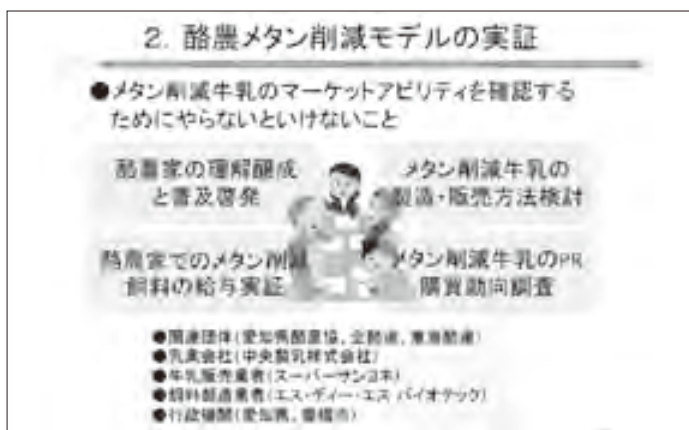
いました。オーストラリアでは温暖海域で採れる海藻「カギケノリ」に牛のおくび（げっぷ）中に含まれるメタン排出量を90%以上も削減する効果があることが発見され（豪州連邦科学産業研究機構とジェームズクック大学の共同研究）、その商業化ライセンスを官民共同で設立されたフューチャーフィード社が管理しています。現在、9社がライセンス認証を受けています。

この先進地視察からは次の点が見えてきました。

- ・メタン削減の取組には牛乳・乳製品の高付加価値化のチャンスがある。
- ・メタン削減で先進地域のオーストラリアでもその意義と対価について一般消費者には完全に浸透していないようであり、酪農家からは「現在は利益が見えない」という意見がある。



また、愛知県内の酪農家、乳業会社、消費者、飼料会社を対象に行った意識調査でも、メタン削減に対して前向きな考えが見られ、特に消費者には「3〜5%上乘せした価格で購入しても良い」という回答が多くありました。

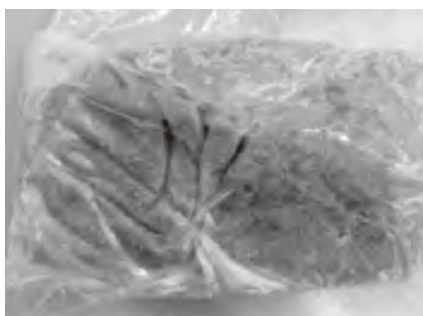


▲「愛知県の畜産メタン削減の取組と今後の展開について」の資料より

↓日本で一般消費者の理解を得るためには、まずは酪農家への理解醸成を図る必要がある。
・オーストラリアでは環境負荷低減に向けた規制に動いており（国から補助金等も出ていない）、日本も規制に向かう可能性が高い。

愛知県独自の試験研究

農林水産省は令和3年5月に策定した「みどりの食料システム戦略」の中で、牛のゲップ等由来の温室効果ガスを抑制する飼料の開発に取



▲ 凍結保存された銀杏果肉



▲ 左より 佐藤精さん(養牛研究室長)、伊藤大樹さん(主任)、武田然也さん(愛知県農業水産局畜産課主査)

り組むこととしています。しかし、現在認可されているのは3-NOP（3-ニトロオキシプロパノール）とカシユーナッツ殻液だけです。

愛知県は生産量全国1位の銀杏^{ぎんなん}の産地ですが、副産物として発生する果肉部分にも牛の第一胃でメタン発生を抑えるアナカルド酸^{※注}と



▲ 搾乳ユニット内の給餌ボックスの裏側には吸気チューブが設置してあり(写真左、中)、パソコンとセットになった測定器に接続されていて(写真右)、牛が搾乳ユニット内で飼料を食べている時の呼気中のメタン濃度と二酸化炭素濃度を測定して、その比率から推定式を使って計算するシステムになっています



▲ 牛舎はよく整理されてきれいに管理され、暑熱対策も万全



▲ 識別装置付きのドアが牛の首輪についたリスボンダーから個体を識別して開閉し、飼槽へのアクセスを通して牛ごとに給餌を調節できるようになっています

をかけて処分される銀杏果肉を飼料化して乳牛のメタン排出を抑える試験研究を、愛知県では行っています。

※アナカルド酸

アナカルド酸には抗菌作用があり、第一胃でメタン生成菌に作用してメタンの発生を抑えると考えられています。大部分のアナカルド酸は分解・吸収されずに糞便中に排泄されて、乳汁中への移行も確認されていません（令和6年（2024年）4月の食品安全委員会肥料・飼料等専門調査会）。

愛知県農業総合試験場で

愛知県長久手市にある愛知県農業総合試験場にお邪魔して、佐藤精さん（養牛研究室長）、伊藤大樹さん（主任）、武田然也さん（愛知県農業水産局畜産課主査）に場内を案内していただきました。牛舎はよく整理されていてきれいに管理され、暑熱対策も万全のようです。牛の呼気に含まれるメタン濃度は、二酸化炭素濃度と共に牛が搾乳ロボットの搾乳ユニットに入場した時に測定されます。場内を案内していただいた方々からは「愛知県独自の飼料の開発を目指したい」との抱負が語られました。

「地球にやさしい牛乳」販売

食品スーパー「サンヨネ」で6月

13日(土)から先行試験販売が始まり、愛知県下にある5店舗で20日間にわたって販売されました。今回販売された「地球にやさしい牛乳」は全て近藤貴幹さんの農場（株式会社ファームリッチ近藤）で農林水産省の認可を受けたメタン削減飼料を与えられた乳牛から搾乳された牛乳（製造元：中央製乳株式会社）です。

近藤貴幹さんと奥様も売り場に立って試飲を勧め、たくさんの方が足を止めて「地球にやさしい牛乳」をカートに入れていました。この日は午前中だけで予定数量以上の売り上げだったそうです。消費者の方々も環境への関心が高いことがうかがえます。試飲と併せてアンケートも実施され、たくさんの方が協力してくれました。

終わりに

取材を快く引き受けてくださった皆様方に、深く御礼申し上げます。



▲ 白基調で“げっぷ牛”が目を引くパッケージ「地球に優しい牛乳」



▲ 試飲を勧める近藤貴幹さんと奥様
近藤貴幹さん「こういうの、苦手なんだけど…」



この「地球にやさしいプロジェクト」は、今後のトレンドを確実に捉えていると感じており、成功してスタンダードとなると確信しております。

地域の皆さんとともに育てていく取り組みとして、今後さらに発展し、持続可能な酪農の未来を切り開く力になることを願っております。

酪農部
発「東日本地域における生乳需給調整基幹施設コンソーシアム」
が整備する乳製品加工施設建設工事の地鎮祭を
執り行いました

令和8年6月11日(木)、国会、全国農業協同組合連合会（JA 全農）、東北生乳販売農業協同組合連合会（東北生乳販連）、関東生乳販売農業協同組合連合会（関東生乳販連）で構成する「東日本地域における生乳需給調整基幹施設コンソーシアム（以下、コンソーシアム）」が、このたび福島県郡山市に建設する乳製品加工施設建設工事の地鎮祭を執り行いました。

当施設の敷地面積は約1万9,881㎡。処理能力は1日最大400t。バター、脱脂粉乳、生クリームなどを製造する予定です。完成は令和10年9月、本格稼働は令和10年12月を予定しています。

式典には当施設が立地する郡山市出身の根本拓衆議員（代理 青木雄司秘書）、椎根健雄郡山市長より祝辞を頂いたほか、鈴木憲和農林水産大臣より祝電を頂き、披露されました。らくのう乳業株式会社の株

主である本会の隈部洋代表理事会長、JA 全農の齊藤良樹代表理事専務、東北生乳販連の伊藤一成代表理事会長、関東生乳販連の高橋秀行副会長理事ら約70名が出席し、鍬入れ等一連の儀式を行い工事の安全を祈願しました。

当施設は、らくのう乳業株式会社が運営する本社工場となります。コンソーシアムの熊谷法夫会長（本会代表理事専務）より「関係団体が集結し生産者と消費者のために、そして福島県の復興に貢献していく」との決意表明がありました。

乳製品加工施設としては最新鋭の設備を備えた本州でも屈指の規模となります。年末年始や学校給食がない時期にはより多くの生乳を受け入れ、保存可能な乳製品を生産し需給調整という重要な役割を担うこととなります。（J.N）



▲ 鍬入れの儀

左から
関東生乳販売農業協同組合連合会 高橋秀行副会長理事
全国農業協同組合連合会 齊藤良樹代表理事専務
コンソーシアム 熊谷法夫会長
全国酪農協同組合連合会 隈部洋代表理事会長
東北生乳販売農業協同組合連合会 伊藤一成代表理事会長



▲ 御神酒拝戴



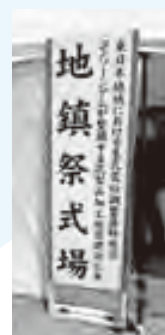
▲ 鍬入れの儀



▲ 直会で挨拶する隈部会長



▲ 椎根健雄郡山市長による来賓挨拶



▲ 地鎮祭式場

酪農部
発【全国農協乳業協会】
「SNSマーケティング研修」を開催しました

酪農部が事務受託する、全国農協乳業協会（会長：濱名靖 榛名酪農業協同組合連合会 代表理事専務）において、令和8年5月19日に12名（6会員）の参加を得て「SNSマーケティング研修」を実施しました。

全国農協乳業協会では、毎年「商品開発・マーケティング」分野の研修会を開催しており、例年は商品開発をテーマにした内容を実施していましたが、今年度はSNSを活用した自社製品の訴求等について学びたいとの声を受け、株式会社インソースの講師を招聘し研修を実施しました。

研修の中では、現代の広報活動におけるSNSの重要性や位置づけを理解し、組織の認知度やブランド価値を高める効果的なSNSの選び方や投稿内容について学びました。冒頭、数十年前の「メディア」といえばTVやラジオ、新聞雑誌等のマスメディアから、消費者が情報を受け取ることがメインであったが、現代は消費者そのものが、プラットフォームを使えば全世界に向けて情報発信ができるメディアとユーザーが平面に存在している状況についてふれられました。その中で、いかに情報を個人

消費者に届け、広げてもらうかの工夫やプラットフォームそのものの理解の重要性について紹介されました。

その中で、X（旧 Twitter）、Facebook、Instagram、YouTube といった主要なプラットフォームのユーザー属性や機能比較、それぞれの「強み」を活かした投稿タイプについて網羅的に解説がなされました。

また、過去の企業による成功事例をもとに「バズマーケティング」の仕組みを学ぶとともに、不特定多数に拡散するSNSならではの「炎上リスク」やその対策についても事例を交えて深く掘り下げました。

受講者からは、「親しみやすいアカウントとしての基盤を作った上で、あえて一步踏み込んだ発言をすることの必要性和炎上リスクのバランスが理解できた」という声や、「各ツールの特徴やユーザー層を再確認したため、今後は感覚に頼らず、1つひとつの投稿に対して的確な効果検証と分析を行っていきたい」といった前向きな感想が寄せられました。総じて、実務における効果的な運用管理とリスクマネジメントの双方を学べる大変有意義な機会となりました。（A.Y）

名古屋
支所発東海ブロック酪政連協議会
「第25回通常総会・全体研修会」開催

令和8年5月29日（金）全酪連名古屋支所会議室（愛知県名古屋市）において東海ブロック酪政連協議会の第25回通常総会と全体研修会が開催されました。

通常総会では、委員長の清水清人氏（日本酪農政治連盟岐阜県支部、岐阜県酪農農業協同組合連合会・代表理事会長）を議長に進行、全ての議案が可決され、無事終了しました。

通常総会に続いて開催された全体研修会では、農林水産省畜産局牛乳乳製品課生乳販課長補佐・平田裕祐氏、同省東海農政局生産部畜産課長・津江野香織氏

を招聘し「酪農政策の今後の方向性について」をテーマに意見交換会を行いました。緩和する生乳需給環境、自給飼料の確保、酪農ヘルパーの確保、中東情勢を受けた資材不足など、愛知、岐阜、三重、長野各県が抱える喫緊の課題や改善策について活発な意見が交わされ、有意義な研修会となりました。

東海ブロック酪政連協議会では、引き続き日本酪農政治連盟と連携を強化し、持続可能な酪農生産基盤の構築につながる政策提言に取り組んで参ります。

（S.Y）



▲ 全体研修会



▲ 通常総会で挨拶をされる清水委員長

名古屋
支所発

愛知県酪農協 6月6日 牛乳の日キャンペーン開催

6月6日、6月牛乳月間のイベントとして愛知県酪農農業協同組合主催による『牛乳の日キャンペーン』が開催されました。本キャンペーンは「6月は牛乳月間」をPRするとともに、牛乳の良さを啓蒙・啓発することを目的に毎年6月に実施されています。

各乳業メーカー担当者、県内酪農団体の関係者が名古屋駅前で通行する一般消費者の方々へミルメークを配布しました。

ミルメークは地元愛知の食品メーカーが製造する牛乳用調味料で、県内では以前より学校給食で使用されるなど愛知県民には馴染みの深い製品です。

受け取った方々より「懐かしい!」「うれしい!」「牛乳飲みます!」といった嬉しい反応がありました。

引き続き牛乳消費拡大に繋がる活動に関係者一丸となって取り組んでいきます。(S.Y)



名古屋
支所発

愛知県牛乳普及協会及び関係者が大村愛知県知事を訪問、 全員で県民に牛乳・乳製品の普及メッセージ

6月12日、愛知県牛乳普及協会及び関係者が愛知県公館を訪れて大村秀章愛知県知事に面会しました。愛知県牛乳普及協会会長挨拶の後、知事による牛

乳・乳製品の試食が行われ、最後に大村知事を含む全員で広く県民に応援メッセージが伝えられました。訪問メンバーは以下(敬称略)です。(S.Y)

愛知県牛乳普及協会

会長

荻野誠 (中央製乳株式会社 代表取締役社長)

副会長

鈴木康弘 (愛知県酪農農業協同組合 代表理事組合長)

会員

中村晃一郎 (雪印メグミルク株式会社 豊橋工場長)
株式会社ファームリッチ近藤 代表取締役 近藤貴幹 (酪農家)
株式会社サンヨネ 代表取締役 三浦和雄



▲ 大村知事が県内産牛乳を使った乳製品を試食



▲ 机には愛知県産牛乳のパッケージが並べられました



▲ 大村秀章 愛知県知事「県民の皆さん、もっと牛乳を飲もう!!」
愛知県牛乳普及協会及び関係者「オオウッ!!」

名古屋
支所発

美濃酪農農業協同組合連合会 6月の牛乳月間を前に岐阜メモリアルセンターで 「ひるがの牛乳」2,000本を無償配布

美濃酪農農業協同組合連合会（清水清人代表理事会長）は、6月の「牛乳月間」を前に牛乳の飲用促進を目的として、5月23日(土)、岐阜市の「岐阜メモリアルセンター ヒマラヤスタジアム岐阜芝生広場」にて「ひるがの牛乳」2,000本を用意し、牛乳の無償配布イベントを開催しました。

当日は、「牛乳でスマイルプロジェクト」の一環である「土日ミルク」の取り組みを前面に打ち出してイベントを実施。会場には、「週刊土日ミルク」のマンガを一部抜粋して掲示したり、仔牛の実物大模型の展示や巨大牛乳カートンを展示してフォトスポットを提

供したりするなど、参加して楽しめる会場づくりを意識しました。

また、牛乳の無償配布と一緒に、「土日に牛乳のんでいますか？」のアンケート、お楽しみ企画として「牛乳クイズ」や「牛のなき声コンテスト」も行われました。コンテストの表彰者には後日、美濃酪連の製品詰め合わせが贈られるとあって、会場は大いに盛り上がりました。さらに、FC岐阜のチアダンスチーム「GGG（トリプルジー）」のメンバーが遊びに来てくれ、会場を盛り上げてくださいました。（M.M）



▲ 牛のなき声コンテスト
「もおおウ」？
「Mooooow」？



▲ GGG（トリプルジー）メンバーも参加



▲ 体験展示ブース



▲ ギッフィー来場

大 阪
支所発中国地区酪農政治連盟協議会
「令和8年度通常総会・情報交換会」を開催

中国地区酪農政治連盟協議会（和田委員長、5 会員）は、令和 8 年 6 月 3 日(水)東京都千代田区のホテルルポール麹町にて通常総会と中国地区の議員の皆様との情報交換会を開催いたしました。

当日は台風上陸の影響で電車遅延等もあり、前日入りや WEB 出席に切り替えとなった方、また電車を乗り継いで会場までお越しいただいた方もいらっしゃいました。総会では提出された議案はすべて原案通り

承認され議事が終了いたしました。

総会後は中国地区の議員の皆様と情報交換会を実施いたしました。議員の先生が SNS 等で牛乳を持っている写真や飲んでいる姿を発信すると消費拡大に繋がっているというデータもあり、積極的な情報の発信を呼びかけました。

この度は交通状況が悪い中、また国会会議等でお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。（M.N）



▲ 自由民主党酪政会所属議員を囲んで

大 阪
支所発全酪連近畿中四国酪農団体協議会
「令和8年度通常総会・研修会」を開催

全酪連近畿中四国酪農団体協議会（檜尾会長、18 会員）は、令和 8 年 6 月 10 日(水)大阪府大阪市のニューオーサカホテルにて通常総会と研修会を開催いたしました。研修会では公認会計士服部会計事務所 公認会計士・税理士 服部夕紀先生に「監事の役割と監査のポイント～酪農業協同組合の持続的な経営を守るために」と題しましてご講演いただきました。

研修内容は当日ご参加いただいた各組合の理事や幹部の皆様の視点に合わせた内容を盛り込んでいただき、酪農業協同組合で今起きている問題への取り組み方、酪農業協同組合の役割の再定義等についてお話いただきました。講演後は講師の先生を囲んだ懇親会を開催し、先生へご質問やご相談をされ、さらに交流を深めることができました。（M.N）



▲ 公認会計士・税理士 服部夕紀先生



▲ 研修会

福岡
支所発

6月1日「世界牛乳の日」博多駅前で“ミルク体験” 「HAKATA MILK CAFÉ × らくのうマルシェ」開催 & 福岡支所でもテナント様向け直売所オープン

● 6月1日「世界牛乳の日」博多駅前で“ミルク体験”「HAKATA MILK CAFÉ × らくのうマルシェ」開催

6月1日(月) JR 博多駅前広場にて、ふくおか県酪農業協同組合（中島清代表理事組合長）とともに「HAKATA MILK CAFÉ × らくのうマルシェ」を開催しました。

このイベントは、6月1日「牛乳の日」および6月「牛乳月間」にあわせ、酪農への理解促進と牛乳・乳製品の消費喚起を目的に実施いたしました。平日の開催特性を活かして、通勤・通学中のビジネスパーソンや駅利用者、国内外の観光客を主な対象とし、短時間でも気軽に立ち寄れる“都市型体験イベント”として展開しました。

主なコンテンツとして、「父の日に牛乳を贈ろう」のキャンペーンの一環として、AIで父の顔が牛に大

変身！驚きと笑いで笑顔があふれました。恒例のバター作りでは一工夫し、出来上がったバターにお好みのフレーバーをチョイス。それぞれのオリジナルバターが完成しました。また、ふくおか県酪職員がバーテンダーに扮し、お好みのミルクを提供する「ミルクバー」には長蛇の列となりました。

福岡県産の牛乳・チーズ・バターなどを使ったフードやスイーツ販売の出店もあり、ご当地牛乳をはじめ、ふくおか県酪からは牧場直送濃厚ソフトクリーム、そして全酪連はチーズ等を販売し、積極的にお客様に大きな声で呼びかけ会場は活気に満ちていました。



▲ ミルクバー



◀ バターづくり

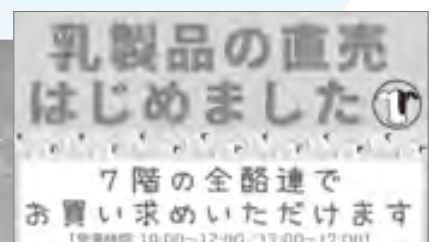


● 福岡支所でもテナント様向け直売所オープン

さらに、平行開催として福岡支所が入居している事務機ビル支所内で「乳製品直売所」をオープンしました。ビルの防犯上、テナント様向け限定ですが、初日には約30組が来場。事前に、ポスティングしたチラシの効果も絶大で「先週から楽しみにしていました〜！」等、嬉しいお言葉をたくさんいただきました！早速リピート購入してくださった方も！

生命力あふれるこの時期、酪農家が心を込めて生産した牛乳や乳製品の素晴らしさ、牛乳、これをもたらし命や自然、働く人々に感謝しながら、こうしたイベントを継続的に開催することで、酪農・牛乳の魅力を伝え、更なる消費拡大につなげていくことが大切だと感じました。

(M.Y)





一般社団法人 Zenraku Academy

全酪アカデミー

令和7年3月～令和8年6月

活動報告

●令和7年度

3/30 第48回理事会
【第1号議案】令和8年度事業計画（案）について

●令和8年度

4/20 第17回運営委員会

5/26 第49回理事会
【第1号議案】就業規則（出向研修生用）の改定について
【第2号議案】借上住宅規程（出向研修生用）の改定について
【第3号議案】給与規程（出向研修生用）の改定について
【第4号議案】旅費規程の改定について
【第5号議案】特定個人情報取扱規程の改定について
【第6号議案】定時社員総会の日程について
【第7号議案】令和8年度（第6事業年度）定時社員総会議案書（案）の承認について

6/19 令和8年度（第6年度）定時社員総会
【第1号議案】第5事業年度事業報告及び収支決算の承認について
【第2号議案】第6事業年度事業計画について
【第3号議案】第6事業年度負担金、年会費の賦課について
【第4号議案】理事及び監事の報酬について

第50回理事会
【第1号議案】特別会員の入会承認について

特別会員 加入状況

承認年月日	会員名
令和8年6月19日	公益財団法人 畜産近代化リース協会

2026年度 新・農業人フェア 出展

▼ 農業 EXPO

① 令和8年 9月13日(日)	会場：グランキューブ大阪
② 令和8年 9月23日(水・祝)	会場：東京国際フォーラム
③ 令和8年 11月15日(日)	会場：東京ビッグサイト

▼ 農業就職・転職 LIVE

④ 令和8年 7月18日(土)	会場：東京交通会館
⑤ 令和9年 1月30日(土)	会場：歌舞伎座タワーマイナビ PLACE



日本酪農
政治連盟

酪政連活動報告

令和8年4月～6月

4/12	○第93回自由民主党大会に出席 (於：東京都港区 グランドプリンスホテル新高輪) 臼井委員長、南部幹事長 出席 高市早苗総裁より特別団体表彰を授与される。	 
4/22	●正副委員長会議を開催(於：酪農会館) 「令和9年度酪農政策・予算確保に関する要請書(案)」について協議 ●酪農・乳業関係報道機関より、臼井委員長がインタビューを受ける。(於：酪農会館) ●自由民主党酪政会及び農林部会幹部への要請活動を実施(於：衆議院議員会館)	 ◀ 森山裕 衆議院議員  ◀ 酪政会 森英介 会長  ◀ 酪政会 伊東良孝 事務局長
4/23	●正副委員長と全酪連、全国酪農協会にて農林水産省を訪問(於：農林水産省) 農林水産省 畜産局 牛乳乳製品課・企画課・飼料課他と面会 「令和9年度酪農政策・予算確保に関する要請書(案)」について意見交換を行う。	
5/15	○食料安全保障強化本部・総合農林政策調査会・農業構造転換推進委員会・農林部会合同会議が開かれる。 (於：自由民主党本部) 野中厚農林部会長、森山裕食料安全保障強化本部長、宮下 一郎総合農林政策調査会長、 江藤拓農業構造転換推進委員会	
5/29	○東海ブロック酪政連協議会 第25回通常総会(於：全酪連名古屋支所) ○九州酪農政治連盟協議会 令和8年度第一回各県会長・委員長、事務局合同会議(於：福岡県博多区 事務機ビル)	
6/2	○北海道酪農協会 支部要請活動(於：衆議院及び参議院議員会館)	
6/3	●三役会議、中央委員会 開催(於：自由民主党本部) 「令和9年度酪農政策・予算確保に関する要請書」について承認 中央委員会では農林水産省畜産局牛乳乳製品課 平田裕祐課長補佐を講師に迎え、 「需給調整機能強化に向けた取組みについて」ご説明をいただく。 参加者は荒天(台風6号)の中、30会員56名出席 ○自由民主党酪政会総会が開催される。(於：自由民主党本部) 会員参加者は、107名(代理を含む) 衆議院議長に就任された森英介会長に代わり、新会長に森山裕議員を選任 酪政連 臼井委員長より令和9年度酪農政策・予算確保に関する要請を行う。 ・6月牛乳月間アピールのため、酪政会々員国会議員の方々へ牛バッチを配付、 バッチを付けた写真を自身のSNSやブログに投稿して頂くよう依頼	 ◀ 酪政連 臼井委員長  ◀ 農林水産省 平田課長補佐    ◀ 就任挨拶を される 森山新会長  
6/7	○自由民主党 農業構造転換推進委員会 全国キャラバン(於：全国8ヶ所) 新たな水田政策の基本的な考え方・仕組みについて意見交換	
6/26	○日本酪農政治連盟徳島県支部 第60回通常総会(於：徳島県酪農協)	
6/29	○長野県酪農政治連盟 通常総会(於：南信酪農協)	
6/30	○酪政連茨城県支部連合会 令和8年度定時総会(於：茨城県水戸市ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸)	

「農業経営統計調査」営農類型別経営統計にご協力ください

「農業経営統計調査」の営農類型別経営統計は、農家及び農業法人の経営状況を明らかにし、農政推進に必要な資料の整備を目的に毎年行う調査（標本調査）です。

調査結果は、「食料・農業・農村基本計画」の「(参考2) 技術体系の将来像と経営モデル」において、各経営モデルを策定するための基礎資料に活用されるほか、補助金等の算定、固定資産評価基準改定のための基礎資料に活用されるなど、活用範囲は多岐に渡っています。

酪農家の皆様方への御協力のお願については、農林水産省が委託した(株)サーベイリサーチセンター（営農類型別経営統計調査事務局）が行っているところです。

本調査の必要性を御理解の上、御協力賜りますようお願い申し上げます。

営農類型別経営統計の調査はこんな調査です

- 調査の目的：農家及び農業法人の経営状況を明らかにし、農政の推進に必要な資料を整備することを目的としています。
- 調査事項：経営状況や労働に関する事項を調査します。
イメージは、次のとおりです。



調査結果はこのように利用されています

「食料・農業・農村基本計画」における経営モデルの資料として

「食料・農業・農村基本計画」の「(参考2) 技術体系の将来像と経営モデル」において、各経営モデルを策定するための基礎資料として利用されています。

「食料・農業・農村基本計画」はこちらから
https://www.maff.go.jp/keikaku/k_aratana/attach/pdf/index-61.pdf



(参考2)
技術体系の将来像と経営モデル

政策推進のための基礎資料として

- 補助金等の算定の基礎資料
- 果樹農業振興基本方針の作成
- 固定資産評価基準改定のための基礎資料 等

農業の動向の分析資料として

「食料・農業・農村白書」における農業経営の実態、動向等に関する分析資料として活用しています。

白書はこちらから
<https://www.maff.go.jp/j/wpaper/index.html>



他の統計調査の作成資料として

- 国民経済計算（GDP統計）【内閣府】
- 生産農業所得統計【農林水産省】 等

農林水産省



中央酪農会議がこのほど公表した指定団体別出荷農家戸数調査によると、令和7年度末で指定団体を通じて生乳を出荷している全国の酪農家（いわゆるインサイダー）戸数は、前年同月比500戸（5.1%）減の9251戸。このうち、北海道は163戸（3.8%）減の4116戸、都府県は337戸（6.2%）減の5135戸。近年の傾向と同様、都

出荷戸数500戸減、9251戸に依然として都府県の離農率高い状況

府県の離農率は依然高い状況が続く。

地域別の酪農家戸数は、東北1256戸（5.5%減）、関東1522戸（6.7%減）、北陸162戸（9.0%減）、東海420戸（6.2%減）、近畿246戸（7.5%減）、中国400戸（5.7%減）、四国186戸（7.0%減）、九州897戸（5.6%減）、沖縄県46戸（前年同）。

（5月20日号）

●出荷農家戸数（沖縄含む）

指定団体	戸数	前年同期比
北海道	4,116	96.2
青森	122	96.8
岩手	514	94.5
宮城	290	94.2
秋田	55	93.2
山形	122	93.1
福島	153	95.0
東北計	1,256	94.5
茨城	194	92.8
栃木	441	96.1
群馬	262	92.9
埼玉	89	89.9
千葉	277	91.1
東京	30	90.9
神奈川	82	89.1
山梨	23	95.8
静岡	124	96.1
関東計	1,522	93.3
新潟	96	89.7
富山	26	96.3
石川	25	89.3
福井	15	93.8
北陸計	162	91.0
長野	176	95.1
岐阜	64	92.8
愛知	158	91.9
三重	22	100.0
東海計	420	93.8
滋賀	26	96.3
京都	34	97.1
大阪	15	83.3
兵庫	143	92.3
奈良	24	88.9
和歌山	4	100.0
近畿計	246	92.5
鳥取	87	94.6
島根	57	91.9
岡山	135	94.4
広島	83	94.3
山口	38	97.4
中国計	400	94.3
徳島	53	88.3
香川	45	95.7
愛媛	60	95.2
高知	28	93.3
四国計	186	93.0
福岡	124	91.9
佐賀	24	92.3
長崎	78	96.3
熊本	353	95.4
大分	59	93.7
宮崎	157	94.0
鹿児島	102	94.4
九州計	897	94.4
沖縄	46	100.0
都府県	5,135	93.8
合計	9,251	94.9

農水省と経産省

ナフサ調達難の影響巡り情報交換会
状況把握し目詰まり解消に向け対応

農水省と経産省は5月27日、ナフ

サ調達難による食品容器包装等への影響をめぐり、食品製造や流通など業界団体との情報交換会の初会合を開いた。食品関係のほか、農業関係についても今後窓口に加え、会合でも関連資材の確保状況や不安・要望の聞き取りを行い状況把握に努めるとともに、目詰まり解消に向け対応していく。

会合は冒頭以外非公開。終了後、農水省の説明によると、会合では両省がナフサや関連資材の調達状況等を説明した後、食品の容器・包装等に必要な資材について、約10団体より将来的なものも含めた資材調達への懸念や、流通の目詰まりに関する意見や声が上がったという。

る意見や声が上がったという。

会合の中で農水省は、農業関連資材に関して「今後も引き続きポリエチレン等を安定的に供給するための原料メーカーへの働きかけ」「農業資材の製造・流通事業者等に対して、調達支障時の関係者との協議と農水省への相談、受発注の平準化などの要請に取り組んでいく」と説明した。

サイレージ用ラップ等の畜産関連資材をめぐっては、農水省が5月20日に畜産関係団体へ対応への協力を求める文書を畜産局の各課長名で発出。資材調達に支障が生じた場合、今一度供給が困難な理由等について供給事業者と丁寧に協議するよう呼びかけるとともに、早めの相談窓口の活用、前年同期同量を基本とした調達、発注の平準化などについても周知・協力を求めている。

（6月1日号）

自民党が提言

来年度以降の水田政策見直しの方針整理 WCSは飼料用米と同様、収量で支援へ

令和9年度からの水田政策見直しをめぐり、自民党は5月15日、党としての新たな水田政策（コメの中長期対策）の基本的な考え方を整理した提言を取りまとめた。飼料用米については追加で支援を行う方針で、実需者（畜産農家）と農業者が連携する取り組みに対し収量に応じて支援。これまで水活交付金の中で助成してきたWCS用イネは、飼料作物としての生産性の観点も踏まえ専用品種への転換を促す方向で、飼料用米と同じく収量に応じて支援すると提起した。

WCS用イネは、地域の実情に配慮した上で、生産性向上の取り組みに対して収量に応じた面積払いで支援。対

象作物は飼料用米を除いたWCS用イネのほか、青刈りトウモロコシ、牧草、ソルゴー、子実用トウモロコシ等。支援対象者は実需者との利用供給協定を締結して生産性向上に取り組み、飼料作物の本作化を図る飼料生産者（自家利用含む）とする。収量はローカル数等で確認する方針としている。

新たな水田政策の基本的な枠組みは、政府がまとめる骨太方針に反映する。今後、地方説明会等を実施して生産現場含め関係者から意見を聴取するとともに、要件等の詳細な制度設計の検討を進め、円滑な開始を目指す。支援単価は予算編成に併せて決定する。（5月20日号）

明治、森永、雪印

原材料コスト上昇するも増益確保 3社ともヨーグルトは好調に推移

明治ホールディングス（HD）、森永乳業、雪印メグミルクの大手乳業3社の令和8年3月期決算がこ

のほど出揃った。原材料コスト上昇の影響を受ける中、各社とも増益は確保。ヨーグルトは各社とも

好調に推移した。

明治HDについては、牛乳は前年並みの一方、プロバイオティクスやヨーグルトは増収。特に主力のブルガリアヨーグルトが好調に推移した。業務用クリーム等も増収に寄与した。

森永乳業については、国内事業では、原材料価格や物流費、人件費などコストの上昇を背景に、価格改定の影響による販売数量減が続き、厳しい事業環境から大幅減益となった一方、海外事業はドイツのミライ社を中心に大幅増益となり、計画を上回る結果となった。これにより、

●大手乳業3社の令和8年3月期決算

単位：億円（以下は四捨五入）、%、▲減

項目	明治HD	森永乳業	雪印メグミルク
売上高	11,737 (1.7)	5,715 (1.8)	6,158 (▲0.0)
営業利益	933 (10.2)	345 (16.3)	183 (▲4.5)
経常利益	966 (17.7)	371 (24.3)	205 (1.1)
当期純利益	351 (▲31.0)	226 (313.9)	329 (136.6)

全酪新報

- 人が牛乳を必要とし、牛肉を必要とし、緑を必要とする限り、酪農は誇り高い永久の仕事です。
- 明日へ向かって前進する酪農界の動きを全酪新報は正確に報道します。時に怒りの声を、時に喜びの声を…幅広くお伝えします。
- ご家族でご愛読いただける酪農専門紙です。
- 毎月1日、10日、20日発行、年間購読料は6,600円（税込・送料込）です。
- お支払（請求書到着後）は、郵便振替、銀行振込、クレジットカード決済がご利用いただけます。
- 見本紙ご希望の方は申し出下さい。無料です。（見本紙にバックナンバーは含まれません）

全酪新報/
購読お申込
フォーム



全体では過去最高益を更新した。雪印メグミルクについては、物量減少や販売終了等により牛乳類を含む飲料・デザート類は減収だった一方、乳製品は増収を確保。特に主力のさけるチーズは過去最高の売上高を記録した。（6月1日号）

一般社団法人 全国酪農協会

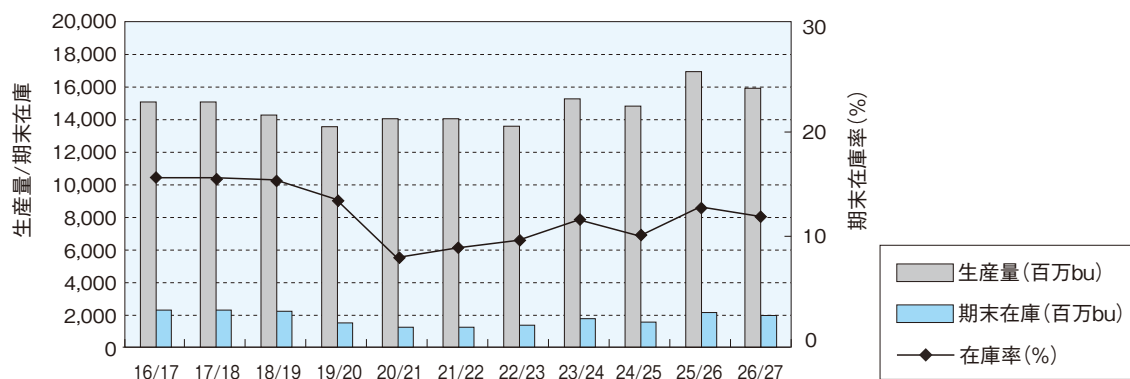
電話 03 (3370) 7213
www.rakunou.org



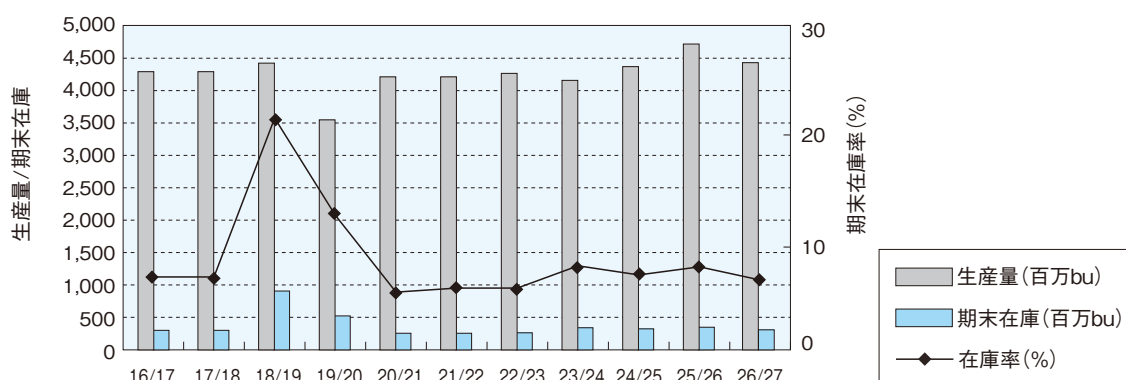


		25/26年産	26/27年産
6月11日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	作付面積 (百万エーカー)	98.8	95.3
	単 収 (ブッシェル/エーカー)	186.5	183.0
	生 産 量 (ブッシェル)	186 億	181 億 6,500 万
	需 要 量 (ブッシェル)	164 億 5,500 万	162 億 500 万
	期末在庫 (ブッシェル)	21 億 4,500 万	19 億 6,000 万
	在 庫 率	13.04%	12.10%
トウモロコシ 相場動向	25/26年産は、輸入量の上方修正により供給量が増加し、期末在庫も前月から増加した。26/27年産については、25/26年産の需給修正に伴う期首在庫の増加を除き需給見通しは前月から据え置かれた結果、期末在庫は増加したものの、市場事前予想レンジ (18億5,700万～21億1,900万ブッシェル) 内の水準となった。需給報告は米国の旧穀・新穀ともに期末在庫が市場予想をやや上回ったものの、大きな需給変更はなく中立的な内容となった。世界的にはブラジルやアルゼンチンの生産量上方修正により世界期末在庫は増加したほか、米国でも良好な天候が続いている。米国の輸出成約は堅調に推移しているが、当面は南米の豊作見通しと良好な生育環境を背景に、相場は軟調に推移する見通しである。		
大豆粕 相場動向	25/26年産、26/27年産ともに全ての項目が前月比据置となった。米中首脳会談後、米国需給報告が概ね市場予想通りの内容となったほか、南米の生産量上方修正や中国によるブラジル産大豆の買付拡大を背景に、相場は弱含みで推移する見通しである。米国の生育環境も引き続き良好であり、相場の上値は重い展開が予想される。		
糟糖類	【一般フスマ】 小麦挽砕は好調に推移しているものの、ふすま歩留まり低下の影響から需要増に追いつかず、需給は引き締まっているため、受渡については注視が必要である。		
	【グルテンフィード】 飼料需要の一部がふすまへシフトしたことで在庫水準は上昇し、需給は緩和傾向にある。加えて、国産の発生期であり輸入玉の供給も安定していることから、当面は受渡は問題ない見込である。		
海上運賃	海上運賃は、中東情勢の悪化に伴う原油価格の高止まりが継続しており堅調に推移している。また、中国の鉱山事故の影響により豪州産石炭の輸送需要が増加している。石炭に加え、鉄鉱石や各種鉱物資源の荷動きも活発化しており、ケーブルサイズ市況が海運市場全体を牽引していることから、パナマックス備船料も堅調に推移している。		

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移





輸入粗飼料の情勢

令和8年6月

海運情勢	北米ではカナダ大手の鉄道会社（CPKC）において労働組合によるストライキが発生しました。現時点では代替運行体制の構築により大規模な物流停止は回避されていますが、今後の交渉状況によっては輸送の遅延やコスト上昇につながる可能性があります。また、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇を受け、船会社各社では緊急燃料サーチャージの導入が進んでいます。輸送環境は依然として不透明感が強く、荷動きの集中や空コンテナ不足も発生していることから、早めの発注と余裕を持った在庫管理が重要な状況となっています。
米国産 ビートパルプ	米国における25年産ビートパルプは生産終了しています。砂糖の取引価格の下落により甜菜の作付面積が減少、収穫量も減少したことにより供給量は前年を下回る見込みです。米国内向けだけでなく、日本やメキシコ、欧州向けの輸出需要も強く、既に完売状態となっています。26年産についても早い段階から契約が進んでおり、価格は高値圏で推移しています。副産物飼料全体の需給が引き締まっていることから、今後は価格上昇への警戒が必要です。
アルファルファ	ワシントン州やオレゴン州では1番刈り収穫が進んでいますが、一部地域では降雨や干ばつの影響により品質のばらつきが見られています。近年の作付面積減少に加え、米国内酪農家からの需要が高まっていることから、産地相場は堅調に推移しています。カリフォルニア州では収穫そのものは順調に進んでいるものの、中東向け輸出の停滞や物流問題など不確定要素も多く、今後の相場動向には注意が必要です。  ▲ 26年5月撮影 コロンビアベースンの アルファルファ1番刈りの 圃場  アメリカ合衆国の干ばつモニター (色が濃いほど乾燥度合いが強い) 出典:U.S. Drought Monitor
米国産 チモシー	ワシントン州およびアイダホ州では収穫が始まっています。収穫初期に強風や雷雨の影響がありましたが、現時点では大きな被害は確認されていません。暖冬の影響による雑草混入や灌漑用水不足への懸念は残るものの、生育状況は概ね順調です。今後の品質や収量は夏場の気象条件に左右される見込みです。  ◀ 26年5月撮影 コロンビアベ- ースンのチモシー 1番刈りの圃
カナダ産 チモシー	レスブリッジ地区では十分な降雪と降雨により水資源が改善し、良好な収量が期待されています。また、国内需要の回復によって在庫消化が進んでおり、新穀開始時には在庫がほぼなくなる見通しです。クレモナ地区でも作付面積が増加しており、今後の降雨状況が収量を左右する重要な要素となります。
スーダングラス	カリフォルニア州南部の地域では収穫が開始しています。5月15日時点での作付面積は20,616エーカーで昨年同時期比96%となっています。スーダングラスは生産コスト上昇や需要減少の影響を受け、生産者が収穫回数を慎重に判断する状況となっています。カリフォルニア州北部の地域では一部野菜の転作作物やナッツ類の樹木作物の線虫対策としてスーダングラスの生産が徐々に増えてきているとのことです。
クレイングラス	クレインは全酪連の登録商標です。 クレイングラスは4月の温暖な気候により生育が早まったことから、例年より早い収穫となり、品質は良好との報告が多くなっています。しかしながら、肥料価格や燃料価格の高騰によるコスト増加が続いており、生産者の収益確保が課題となっています。5月15日時点での作付面積は24,791エーカーで昨年同時期比108%となっています。
ストロー類	ライグラスおよびフェスクは概ね順調に生育しています。収量確保のためには今後の降雨が重要となり、夏場の高温によるヒートストレスが懸念されています。日本・韓国向け輸出は安定している一方で、産地在庫は低水準で推移しており、新穀に対する期待が高まっています。
豪州産 オーツハイ・ ウィートストロー	26年産オーツハイは播種作業が順調に進んでおり、現時点での生育環境は良好です。しかしながら、豪州国内の酪農需要に加え、中国や韓国からの需要も堅調で、価格は高値圏を維持しています。肥料や燃料価格も依然として高水準にあり、生産コスト上昇分の価格転嫁が進む可能性があります。
欧州産粗飼料	5月25日に東京で「EU乾燥脱水飼料作物に関するセミナーおよびワークショップ」が開催されました。多くのイタリア、スペインの牧草販売業者が来日しました。欧州連合（EU）はヨーロッパにおける域内タンパク源確保と畜産振興を目的に乾燥脱水飼料産業への支援を実施してきました。近年は日本を含むアジア市場向けの販促活動を強化しており、スペイン産やイタリア産の粗飼料の存在感が高まりつつあります。今後は米国産との競争が予想され、品質・価格・供給安定性が市場シェアを左右すると考えられます。
総 括	世界的に粗飼料市場は供給不足と物流コスト上昇の影響を受けています。特にビートパルプ、アルファルファ、ストロー類については需給の引き締まりが続いており、価格上昇圧力が強い状況です。今後も天候や国際情勢による影響が予想されるため、必要数量の早期確保と適切な在庫管理が重要となります。酪農経営においては、飼料価格の変動リスクを考慮した計画的な購買と飼料設計の検討が求められます。

※粗飼料情勢の全文は弊社ホームページに掲載しています。

2025年4月18日
リニューアルオープン
「大山まきばみるくの里」
開催!

自然の中で、同じ体験を楽しむひととき。
共通の「好き」から、心地よいご縁が広がるかも♡

独身のお友だちと一緒に
参加してください!

既婚者サポーター
参加大歓迎♡

独身の方と一緒にのお申込みなら、既婚者の方も申込みOK! モー活を楽しみましょう。

牛好き・酪農好き集まれ~♡

モー活で出会う、 酪農交流会



Icebreaker Games / 自己紹介&コミュニケーションゲーム

自己紹介までも楽しい! 照れながらも自然な笑顔でご挨拶!

2026 10.18 SUN

大山の自然に包まれて楽しむ「モー活」。
酪農や大山乳業の魅力に触れながら、ゆったり交流できるイベントです。
共通の「好き」から、自然な会話と出会いが生まれます。

時 間 13:00 ~ 16:10 受付 12:30 ~

対象・定員 独身男女 各15名

※定員を上回る場合には抽選となります。
※参加者に鳥取県内の酪農家・酪農従事者が含まれます。

参加費 男性 5,000円 女性 1,000円

会 場 大山まきばみるくの里 (鳥取県西伯郡伯耆町小林2-11)
※会場までの交通費は自己負担です。

放牧場見学
《フリータイム》

自然は入ることができない。
牛舎見学ができます。
かわいい牛とふれあえます。

搾乳疑似体験
《フリータイム》

酪農家さんがやさしくレクチャー! 搾乳機で手搾り搾乳体験も楽しめます! また、搾乳機を見ることもできる! 酪農ソールの見学もあります!

白バラスイーツビュッフェ
《フリータイム》

白バタファンにはたらない、スイートビュッフェをご用意。あなたの「好きスイーツ」を身につけてください。

1対1トーク&
フリータイム

「たくさんの人と話したい」あなたも。
「じっくり1人の方とお話したい」あなたも!
たくさん話して、ゆっくり向き合って、自分に合った距離感で交流を楽しみましょう!

お申込みフォーム

右記の参加申込フォームから、必要事項を入力し、送信してください。

申込締切: 10月5日(月)



主 催 大山乳業農業協同組合

共 催 ヒューマンサポートセンター
えんトリー (一社) 鳥取県法人会連合会

お問い合わせ 一般社団法人 H&C

〒680-0845 鳥取市富安1丁目74-3日産商業ビル3階
TEL: 0897-79-1261 info@hc.tottori.com

※参加の順序は申込 日時の詳細と合わせてご確認いただきます。

1 全酪乳製品セットA

税込**4,212円** (本体3,900円)

内容：とろけるスライスチーズ126g／スライスチーズ126g／スモークチーズ120g／6Pチーズ108g／酪農家ぬるチーズスプレッド80g／酪農家バター(加塩)200g：各1個
アレルギー物質：乳



2 全酪乳製品セットB

税込**5,940円** (本体5,500円)

内容：とろけるスライスチーズ126g／スライスチーズ126g／スモークチーズ120g／6Pチーズ108g／全酪ゴーダ125g／酪農家ぬるチーズスプレッド80g／酪農家バター(加塩)200g／全酪パウダーチーズ70g：各1個
アレルギー物質：乳



3 全酪 牛飼いのバター 5個セット

税込**4,860円** (本体4,500円)

内容：牛飼いのバター（加塩）200g×5個
アレルギー物質：乳



ZENRAKU Summer Gift 2026

取扱期間

2026年6月15日～8月31日
※一部商品のぞく。

全酪連ギフトオンラインショップ
➡ <https://zenrakuren.stores.jp/>



5 大山おいしいギフトミルク&のむヨーグルト

税込**4,199円** (本体3,888円)

内容：特選大山おいしい牛乳 900ml × 1本／大山おいしいカフェ・オ・レ 900ml × 1本／鳥取大山のむヨーグルト 750ml × 2本
アレルギー物質：乳



〔製造者〕 蒜山酪農農業協同組合 (岡山県真庭市)

6 贅沢ヨーグルトと飲むヨーグルトのセット

税込**4,854円** (本体4,494円)

内容：贅沢ヨーグルト 90g × 8／飲むヨーグルト 150ml × 3／のむマンゴーヨーグルト 150ml × 3
※無地箱
アレルギー物質：乳



10 蒜山ジャージープレミアムアイスクリーム 8個セット

税込**5,604円** (本体5,189円)

内容：バニラ 120ml × 2／ミルク 120ml × 2／抹茶 120ml × 2／チョコレート 120ml × 1／珈琲 120ml × 1
化粧箱
アレルギー物質：乳／卵



〔製造者〕 美濃酪農農業協同組合連合会 (岐阜県美濃市)

7 ひるがのヨーグルト 80g・ひるがのミルクプリン 80g 各種 12個入

税込**4,968円** (本体4,600円)

内容：ひるがのヨーグルト 80g × 12個／ひるがのミルクプリン 80g × 12個
アレルギー物質：乳／卵



11 白バラプレミアムアイスギフト 8個

税込**4,699円** (本体4,351円)

内容：110ml × 4個 (ミルク、抹茶 各2個)／95ml × 4個 (いちご、ブルーベリー&クリームチーズ 各2個)
アレルギー物質：乳／卵／小麦／大豆



15 大山焼き菓子詰合せ

税込**4,400円** (本体4,074円)

内容：パウムクーヘン × 1個／フィナンシェ × 5個／まんじゅう × 5個
アレルギー物質：乳／卵／小麦／アーモンド／大豆



12 東毛酪農アイスセット 12個入り

税込**6,145円** (本体5,690円)

内容：牧場ミルク × 3／はちみつバニラ × 3／ミルクチョコレート × 2／ミルクコーヒー × 2／宇治抹茶 × 2
アレルギー物質：乳／卵

※はちみつを使用しておりますので、1歳未満の乳児には食べさせないようご注意ください。



〔製造者〕 東毛酪農農業協同組合 (群馬県太田市)

16 東毛酪農アイスセット 8個入

税込**4,751円** (本体4,399円)

内容：牧場ミルク × 2／はちみつバニラ × 1／ミルクチョコレート × 2／ミルクコーヒー × 1／宇治抹茶 × 2
アレルギー物質：乳／卵

※はちみつを使用しておりますので、1歳未満の乳児には食べさせないようご注意ください。



〔製造者〕 東毛酪農農業協同組合 (群馬県太田市)

17 九州そだち阿蘇山麓塩バター 8個入 (BD-8)

税込**4,104円** (本体3,800円)

内容：九州そだち阿蘇山麓塩バター × 8個
アレルギー物質：乳／卵／小麦／大豆／やまいも



〔製造者〕 南杉谷本舗 (長崎県諫早市)

18 ミルクどら・あまおう苺どら詰合せ

税込**4,230円** (本体3,917円)

内容：ミルクどら × 5個／あまおう苺どら × 5個
アレルギー物質：乳／卵／小麦／大豆



20 牛乳カステラ・長崎カステラセット

税込**3,888円** (本体3,600円)

内容：370g 2本入り (牛乳カステラ・長崎街道カステラ蜂蜜風味 各1本)
アレルギー物質：乳／卵／小麦
※はちみつを使用しておりますので、1歳未満の乳児には食べさせないようご注意ください。



〔製造者〕 中央製乳株式会社 (愛知県豊橋市)

21 MOCHIMORE 7個セット

税込**3,888円** (本体3,600円)

内容：ティラミス (80ml) × 1個／ホワイトチョコいちご (80ml) × 1個／抹茶と黒蜜きなこ (80ml) × 1個／塩キャラメル (80ml) × 1個／ゴルゴンゾーラとカラメルアップル (80ml) × 1個／マンゴーとマンゴーソース (80ml) × 1個／アサイーボウル (80ml) × 1個
アレルギー物質：乳／大豆／アーモンド／りんご／バナナ





NEW

4 白バラ乳製品ギフト

税込3,999円 (本体3,703円)

内容：大山高原生クリームヨーグルト75g×8個／大山バター150g×1個／クリームチーズ180g×1個
アレルギー物質：乳

冷蔵 短め お中元 大安時

〔製造者〕大山乳業農業協同組合（鳥取県東伯郡）



〔製造者〕大山乳業農業協同組合（鳥取県東伯郡）



8 奥中山高原アイスギフト (S)

税込5,076円 (本体4,700円)

内容：バニラ／イチゴ／ブドウ／洋なし×各2個
アレルギー物質：乳／卵

冷凍 短め 大安時

〔製造者〕奥中山高原農協乳業株（岩手県二戸郡）

9 奥中山高原アイスギフト (I)

税込6,372円 (本体5,900円)

内容：バニラ／イチゴ／ブドウ／洋なし／コーヒー／抹茶×各2個
アレルギー物質：乳／卵

冷凍 短め 大安時

〔製造者〕奥中山高原農協乳業株（岩手県二戸郡）



〔製造者〕蒜山酪農農業協同組合（岡山県真庭市）



〔製造者〕大山乳業農業協同組合（鳥取県東伯郡）



〔製造者〕大山乳業農業協同組合（鳥取県東伯郡）

14 白バラ生ロールケーキギフト

税込4,199円 (本体3,888円)

内容：白バラ牛乳生ロールケーキ 264g (1個)／白バラコーヒー生ロールケーキ 256g (1個)
アレルギー物質：乳／卵／小麦／大豆／ゼラチン

冷凍 短め お中元 大安時



〔製造者〕大山乳業農業協同組合（鳥取県東伯郡）



〔製造者〕株菊家（大分県由布市）

16 地卵はちみつぷりん9個入

税込3,996円 (本体3,700円)

内容：地卵はちみつぷりん (90g×9)／ソース (5g×9)
アレルギー物質：乳／卵
※はちみつを使用しておりますので、1歳未満の乳児には食べさせないようにご注意ください。

簡易 短め 大安時



〔販売者〕株弘乳舎（熊本県熊本市）



〔製造者〕有杉谷本舗（長崎県諫早市）

19 長崎カステラ3品詰合せセット

税込3,808円 (本体3,526円)

内容：プレミアム・ショコラ190g／蜂蜜カステラ185g／いちごみるくカステラ185g (各5カット／本)
アレルギー物質：乳／卵／小麦／大豆
※はちみつを使用しておりますので、1歳未満の乳児には食べさせないようにご注意ください。

全 普 名入れ可



〔製造者〕有杉谷本舗（長崎県諫早市）

リニューアル



【製造者】 株式会社クリーンミート
(北海道紋別郡)

22 おこっぺハムギフト
(OC-40)

税込4,100円 (本体3,796円)

内容：北海道認証ベーコンスライス
80g/北海道ポークフランク220g/あ
らびきフランク200g/あらびきウイ
ナー95g/ハーブウイナー95g/行
者にんにくウイナー95g
アレルギー物質：乳/豚肉

冷蔵 簡易 短冊 名入れ可

リニューアル



【製造者】 株式会社クリーンミート
(北海道紋別郡)

23 おこっぺハムギフト
(OC-50)

税込5,400円 (本体5,000円)

内容：北海道認証ベーコンブロック
300g/北海道認証ペッパーポーク
300g/あらびきフランク200g/バジ
リコフランク220g/あらびきウイ
ナー95g/ガーリックウイナー95g
アレルギー物質：豚肉

冷蔵 簡易 短冊 名入れ可

リニューアル



取扱期間：6/15～7/27
【製造者】 大山ハム株式会社 (鳥取県米子市)

24 大山ハム 食の匠工房6種
詰合せ (DLG-58)

税込5,400円 (本体5,000円)

内容：熟成乾塩ベーコンハーフ80g×1
/生ハム(肩ロース) 40g×1/カントリー
ロースト72g×1/ペッパーシンケン72g
×1/チーズリヨナー36g×1/あらびき
ポークウイナー120g×1
アレルギー物質：乳/豚肉

冷蔵 簡易 短冊 名入れ可



【製造者】 生活協同組合コープかごしま
(鹿児島県鹿児島市)

25 全酪牛 焼肉セット

税込7,290円 (本体6,750円)

内容：産直牛(国産牛) 肩ロース250g
/モモ250g
アレルギー物質：牛肉

冷凍 短冊 お中元 名入れ可

NEW

26 十勝清水町
若牛焼肉セット

税込7,560円 (本体7,000円)

内容：十勝若牛タン 200g/十勝若牛味
付きサガリ 400g/十勝若牛ミノ 250g
/ジンギスカン 450g
アレルギー物質：乳/小麦/牛肉/大豆
/ごま/豚肉/りんご/鶏肉

冷凍 短冊 お中元 名入れ可

【製造者】 株式会社十勝清水フードサービス
(北海道上川郡)

NEW

27 北海道十勝若牛のカレー
よくばり3種食べ比べセット

税込3,996円 (本体3,700円)

内容：十勝若牛のカレー 中辛(200g)×
2個/十勝若牛のカレー 辛口(200g)×
2個/十勝若牛のキーマカレー(200g)
×1個
アレルギー物質：乳/小麦/豚肉/牛肉
大豆/りんご/ごま/鶏肉/バナナ

短冊 お中元 名入れ可

【製造者】 株式会社十勝清水フードサービス
(北海道上川郡)

取扱上のご注意

1. 配送地区に制限のある場合もありますので、ご確認ください。
なお、離島につきましては原則として配達できませんので、
予めご了承ください。
2. お申込後のご返品、お取り消し(お届け先様ご不在、ご移転
ご転居、受け取り拒否等による)扱いはいたしませんので
予めご承知おきください。
3. お届け先様のご不在における取扱は、配送業者の取扱規定に
より対応します。
4. 掲載商品の価格には消費税及び送料が含まれております。
5. 詰合せ内容・商品デザイン及び配列については、お断りなく
一部変更する場合があります。
6. 商品は十分にをご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了
とさせていただきますのでご了承ください。
7. 冷凍 冷蔵 マークの付いている商品はそれぞれ冷凍、冷蔵での
お届けになります。
8. 簡易 全 マークの付いている商品はそれぞれ簡易包装、全包
装となります。また、表示のない商品には包装はありません。
(簡易包装とは、包装紙を帯状に商品に巻きつけた包装形態の
ことです。)
9. 普通 短冊 マークの付いている商品はそれぞれ普通サイズ、短冊
サイズの熨斗となります。
10. 名入れ可 マークの付いている商品は熨斗の表書きにご指定の文字が
入れられます。商品によりスペースが異なり、全ての文字を
入れられないこともございます。ご了承ください。
11. お中元 マークの付いている商品は熨斗の表書きがお中元のみ
となります。

全国酪農業協同組合連合会

●本所 酪農部
●札幌支所
●仙台支所
●名古屋支所
●大阪支所
●福岡支所

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-37-2 酪農会館
〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 7-1 酪農センター
〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-10-28 カメイ仙台グリーンシティ 8F
〒460-0008 名古屋市中区栄 1-16-6 名古屋三蔵ビル 3F
〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-14-10 新大阪トヨタビル 6F
〒812-0016 福岡市博多区博多駅前 1-2-15 事務機ビル 7F

TEL 03-5931-8008 FAX 03-5931-8025
TEL 011-241-0765 FAX 011-241-0769
TEL 022-221-5381 FAX 022-221-5384
TEL 052-209-5611 FAX 052-209-5614
TEL 06-6305-4196 FAX 06-6305-4899
TEL 092-432-2121 FAX 092-431-6313



乳牛産地情報

令和8年7月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
釧路事務所 TEL 0154-52-1232
根室駐在員事務所 TEL 01537-6-1877
帯広事務所 TEL 0155-37-6051
道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ▲……強含み ▼……やや強含み →……横這い ⇐……やや弱含み ↓……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	25~35	→	札幌管内における6月中旬までの生乳生産量の前年比は、函館管内が月計93.2%、累計94.1%、苫小牧管内が月計94.7%、累計94.8%となっております。7月の初妊牛につきましては、9月下旬~10月中旬分娩が中心となります。秋口分娩予定牛の出回りが増加する一方、夏場の輸送リスクを考慮した買い控えや、道内外における購買意欲の低下が見込まれることから、相場は引き続き軟調に推移するものと見込まれます。経産牛および育成牛につきましては、先月同様、横ばいで推移するものと見込まれます。出回り頭数は少ない地域ではありますが、優良牛や高能力牛を取り揃えておりますので、ご希望がございましたらお問い合わせください。
	初妊牛	53~63	↓	
	経産牛	45~55	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	25~35	→	根釧管内における6月中旬までの生乳生産量の前年比は、釧路管内が月計97.6%、累計98.3%、中標津管内が月計98.0%、累計98.7%となっております。7月の初妊牛につきましては、9月下旬~10月中旬分娩が中心となります。夏場の輸送リスクを考慮し、引き合いは弱まると予想されることから、価格は弱含みで推移するものと見込まれます。腹別では、F1腹および和牛受精卵移植腹はやや堅調に推移する見込みです。雌雄選別腹につきましては、資源頭数の減少により、F1腹との価格差が縮小しております。経産牛につきましては、即戦力となる牛への需要が引き続き強く、高値で推移するものと見込まれます。育成牛につきましては、夏生まれ牛の出回りが増加する時期となりますが、一定の需要が見込まれることから、横ばいで推移するものと見込まれます。
	初妊牛	53~63	↓	
	経産牛	45~55	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	30~40	→	帯広管内における6月中旬までの生乳生産量の前年比は、月計97.9%、累計98.4%となっております。7月の初妊牛につきましては、9月下旬~10月中旬分娩が中心となります。授精時期の偏りにより秋分娩予定牛の頭数が多く、出回り資源は豊富と見込まれます。また、夏場の導入リスクを考慮した導入意欲の低下が予想されることから、価格は弱含みで推移するものと見込まれます。経産牛につきましては、相場は徐々に落ち着きを見せており、7月は弱含みで推移する見込みです。一方で、道内からの引き合いは依然として強く、前年を上回る水準で取引されております。育成牛につきましては、道内需要が堅調であることから、横ばいで推移するものと見込まれます。
	初妊牛	53~63	↓	
	経産牛	50~60	↓	
道北管内	育成牛(10-12月令)	25~35	→	道北管内における6月中旬までの生乳生産量の前年比は、稚内管内が月計97.5%、累計99.1%、北見管内が月計99.3%、累計99.6%となっております。7月の初妊牛につきましては、9月下旬~10月中旬分娩が中心となります。授精時期のずれ込みにより秋分娩予定牛の資源が潤沢であることから、相場は弱含みで推移するものと見込まれます。また、管内では雌雄判別精液の利用が多いことから、今後は雌雄選別腹の資源も増加するものと見込まれます。育成牛につきましては、出回り頭数が前年より少なく需給のバランスが取れていることから、価格は横ばいで推移するものと見込まれます。経産牛につきましては、道内から即戦力としての需要が引き続きあることから、価格は横ばいで推移するものと見込まれます。
	初妊牛	50~60	↓	
	経産牛	40~50	→	
道内総括	育成牛(10-12月令)	30~40	→	道内全体における6月中旬までの生乳生産量の前年比は、月計97.8%、累計98.4%となっております。7月の初妊牛につきましては、秋口分娩予定牛の取引が中心となります。夏場の輸送となることから、例年どおり都府県の需要は落ち着く一方、授精時期の偏りにより出回り頭数は増加する見込みであることから、相場は弱含みで推移するものと見込まれます。育成牛につきましては、引き続き道内の出回り資源が限られていることから一定の需要が見込まれ、相場は横ばいで推移するものと見込まれます。また、経産牛につきましては、道内から即戦力としての引き合いが引き続き強く、庭先購買においても高い水準で取引されるものと見込まれます。
	初妊牛	53~63	↓	
	経産牛	45~55	→	

今月の表紙



今月の表紙は「第15回酪農いきいきフォトコンテスト」に応募いただいた作品「お参りに来ました。」(福島県 山田克枝氏 撮影)です。

令和8年7月10日発行(毎月1回10日発行)

全酪連会報 7月号 No.730

●編集・発行人 飯島洋一

●発行 全国酪農業協同組合連合会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番2号 酪農会館

TEL 03-5931-8003 <https://www.zenrakuren.or.jp/>

編集後記

●今年の「らくのうこどもギャラリー」には、全国から209点の応募をいただき、誠にありがとうございました。入賞作品からは、子どもたちの豊かな発想と酪農への温かなまなざしが感じられます。ご応募いただいた皆さまに心より感謝申し上げますとともに、来年もさらに多くの作品に出会えることを楽しみにしております。梅雨明けが待たれる時期ですが、蒸し暑い日が続きます。水分補給と暑熱対策を万全にし、牛も人も健やかに夏を迎えましょう。

●会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです。
shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

今月の

らくのう

こどもギャラリー

入賞作品紹介



特選

も～

会津若松市立城南小学校 2年（東北） 山谷めい

今月の入賞作品は…

会津若松市立城南小学校 2年（東北）の山谷めいさんの作品です。

斜め後ろから描かれた牛さんがとても魅力的に描けましたね。雲や斑紋や柵や草がたっぷりと水を含んだ絵の具で塗り分けられ、ダイナミックな筆さばきが絵にリズムを生んでいます。絵全体に生命力がみなぎり、元気^{はつらつ}潑刺としたみずみずしい作品に仕上がってます。



※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第52回らくのうこどもギャラリー」で全国209点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議